

公表

## 令和6年度 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童支援事業所ぶらみんぽーと（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		2024年12月12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	2024年9月28日		2025年1月23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	19施設	(回答数) 11施設
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性を活かした支援	様々な専門職がそれぞれの専門性を活かして支援を行っている。	より専門性の高い支援が提供できるよう、外部の専門家から助言を受けたり、職員の研修参加の機会を設け、質の向上を図っていく。
2	きめ細やかな支援	対象となるお子さんや保護者のことをよく理解している療育担当者が訪問している。	お子さん、保護者、訪問先施設のニーズの把握に努め、適切なアセスメントを行った上で支援に反映させていく。
3	丁寧なフィードバック	行動観察の後、訪問先施設の職員とカンファレンスを行い、その内容を報告書にまとめ、保護者に直接説明している。	訪問する際はその都度その日の訪問の目的を明確にして支援を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用できる対象児が限定されている	保育所等訪問支援専従の職員がいない。	保育所等訪問支援に従事する職員の体制（職種や人数）を検討していく。
2	保護者同士が交流する場が少ない	個別療育を利用している保護者は他の保護者と接する機会が少ない。	就学に関する説明会や保護者教室等を通して、保護者同士が交流できる機会を作っていく。
3	ホームページ等での情報発信	ホームページに掲載されている情報量が少ない。	必要な情報が得られるようホームページの内容を充実させ、事業所からの情報を発信していく。